

nART

ことはじめ

ここからアートが始まる

関西芸術情報誌

2015
spring

vol.9

特集

ガウディ

✕ 井上雄彦

何故、ガウディは、
サグラダ・ファミリアを
つくり始めたのだろう。



絵：谷口智則（絵本作家）

特別展

建築家
ガウディ

漫画家
井上雄彦

・シンクロする創造の源泉・

Takehiko Inoue interprets
Gaudi's Universe

後にも、先にも、いましか観られない！ 夢のコラボレーションが神戸へ！

何を見て、何を感じるのか？
それはあなた次第。

ガウディ×井上雄彦。誰もが考え得なかつた驚きのコラボレーションが、いよいよ兵庫県立美術館に巡回します。

スペイン・バルセロナを中心に活動したアントニ・ガウディ。1882年の着工以来、今なお、造り続けられているサグラダ・ファミリアをはじめ、ゲル公園、カサ・ミラ、カサ・パトリヨなどユネスコ世界遺産に登録された独創的な建築は、唯一無二の存在として、世界の人々を魅了しています。

一方、井上雄彦は、日本にバスケットボールの火をつけた『SLAM DUNK』の作者。『バガボンド』『リアル』など国民的な人気漫画作品を描き、さらに『井上雄彦最後のマンガ展』などの個展や、京都・東本願寺に描いた親鸞の屏風絵など、漫画家の枠を超えたスケールの活動を行なっています。海外でも非常に人気が高く、2013年には「日本スペイン交流400周年」の親善大使にも任命されました。

両国の国交400年を記念して企画された稀有なる展覧会。建築家と漫画家、二つの才能が、時空を超えてどのように出会い、結びつくのか。ぜひ、あなた自身の目で確かめてください。



アントニ・ガウディ「カサ・ミラ」横断面 1877年10月22日 © Catedral Gaudi



カサ・イ・バルデスエラ (アントニ・ガウディのデザインによる) <カルベート氏執務室用椅子> 1899年 © Gasull Fotografia

ガウディファンも井上ファンもともに心酔する衝撃の世界。

見どころ満載の展覧会。舞台裏も含め、そのポイントをご紹介します。

【見どころ1】

展示場は、第一章から第三章まで、ガウディの生涯の足跡を追いつつ、井上雄彦が描くガウディの世界観とともに構成されています。井上雄彦の作品約40点は、今回の特別展のために、すべて書き下ろされたものばかり。彼はこの仕事のために、実際、バルセロナに約一カ月暮らしました。ガウディの作品であるカサ・ミラ内にアトリエを構え、日々、サグラダ・ファミリアを眺め、ガウディに丸ごと包まれるような環境で、創作活動をつづけました。

「人間は創造しない。ただ自然の中に発見するのみ」という言葉からもわかるように自然への畏敬の念を抱き、共生することを知っていたかのようなガウディ。そのインスピレーションの源に触れた井上雄彦が彼自身の身体を通して生まれた表現により、一枚一枚に精魂込めて描いた作品は、見る者を圧倒し、深い感動を呼び覚まします。



展示風景 photo:鈴木愛子

【見どころ2】

今回、井上雄彦の作品はすべて、1500年の歴史を持つ越前和紙に墨で描かれ、そのうちの一点は、世界最大級の手漉き和紙にガウディの世界を表現しています。また展示会場の壁にも、直筆で作品を描いているかも?!お見逃しなく!

【見どころ3】

ガウディ自筆のスケッチや図面、大型の建築模型や、ガウディがデザインした椅子やドアなど、貴重な作品約100件を展示。またバルセロナの美しい映像や、井上雄彦の画が動き出すプロジェクション・マッピング、建築構造のインスタレーションなど、二次元、三次元の世界が、ダイナミックに展開します。さらに、ガウディがデザインした、バルセロナのメインストリートの六角形タイルも一部の床に敷き詰められて再現。カンカンと響く足元から、バルセロナの街を感じることができます。

二人のアーティストの時空を超えたコラボレーション。後にも先にもここでしか出合えない、創造の化学反応を体感できるのは、まさに、今、この時しかありません。



<サグラダ・ファミリア聖堂模型> 制作:サグラダ・ファミリア聖堂模型室 © Basilica de la Sagrada Família

建築家 ガウディ × 漫画家 井上雄彦

シンクロする創造の源泉・Takehiko Inoue interprets Gaudi's Universe



photo: Audouard & C.a, Barcelona © Institut Municipal de Museus de Reus



© J.T.Planning, 日経BP社 (写真:川口忠信)

2015年3月21日(土) 5月24日(日)
兵庫県立美術館ギャラリー棟 3F

10:00~18:00 (入館は閉館の30分前まで)
※月曜休館 ただし5月4日(月・祝)は開館 5月7日(木)は休館
お問い合わせ/TEL.0570-063-050 (ロソンチケット内)
http://www.gaudinoue.com

春のおすすめ展覧会PICK UP

チューリヒ美術館展 印象派からシュルレアリスムまで

2015年1月31日(土)~5月10日(日) 神戸市立博物館
9:30~17:30 (土曜日は19:00) 入館は閉館の30分前まで ※月曜休館 ただし5月4日(月・祝)は開館 お問い合わせ/TEL.078-391-0035 http://zurich2014-15.jp/

圧巻!すべてが代表作。
これはもう見逃せない!

スイスが誇る美の殿堂チューリヒ美術館。世界屈指といわれる近代美術コレクションの全貌を紹介。モネ、セザンヌ、ピカソ、ダリ、ジャコメッティなど、スイスゆかりの巨匠たちの珠玉の傑作74点が集結。1人の作家を特集する【巨匠のコーナー】と、各時代の美術運動や流派がまとまった【時代のコーナー】で構成され、見どころが満載。【巨匠のコーナー】では、モネの「睡蓮の池、夕暮れ」をはじめ、初期から晩年まで各時代の代表作6点を展示するシャガールもお見逃しなく。【時代のコーナー】では、セザンヌ、ゴッホ、ルソーらの珠玉の絵画で彩るポスト印象派、ピカソとマチスの対比が際立つフォーヴィスムとキュビズムなど、傑作が勢揃いしています。



アンリ・ルソー (X氏の肖像(ピエール・ロティ)) 1906年 ©2014-2015 Kunsthaus Zürich. All rights reserved.

魔女の秘密展 ~ベールに包まれた美と異端の真実~

2015年3月7日(土)~5月10日(日) 大阪文化館・天保山
10:00~17:00 (土・日・祝は18:00) 入館は閉館の30分前まで
お問い合わせ/TEL. 0570-063-050 (ロソンチケット内) http://majo-himitsu.com/



すべての魔女が天保山に集う!
魔女の真実を見よ!

グスタフ・アドルフ・シュパンゲンベルク (ワルブルグスの夜) 1862年 ハンブルク市立美術館 ©Hamburger Kunsthalle / bpk Photo: Elke Walford

15世紀から17世紀のヨーロッパでは、民衆が魔女に仕立てられ迫害を受ける「魔女狩り」が行われました。その発端は何だったのか?どのような人が「魔女」とされたのか?「信じる」「妄信する」「裁く」「想う」の4つのテーマを通して、魔女のすべてが解き明かされます。魔女をテーマに描かれた絵画やまじない道具、魔女裁判に関する書物や資料、魔女裁判で実際に使われた拷問道具など、ドイツ・オーストリア・フランスからの貴重な作品約100点を展示。また、メディアインスタレーションによる「異端審問」「火あぶりの刑」シーンの体験など、多彩な構成も魅力。「本当の魔女」とは何か?その歴史と真実に迫る、日本初の本格的かつ大規模な展覧会です。

ぐりとぐら展

2015年4月11日(土)~5月31日(日) 伊丹市立美術館・工芸センター
10:00~18:00 入館は閉館の30分前まで ※月曜休館 ただし5月4日(月・祝)は開館
5月7日(木)は休館 お問い合わせ/TEL.072-772-7447 http://artmuseum-itami.jp/



誰もが大好き「ぐりとぐら」。
優しさと温もり溢れる世界を満喫。

「ぐりとぐらの1ねかん」(1997年) 原画 中川李枝子 作、山脇(大村)百合子/絵、福音館書店刊、原画 © Mieko Nakagawa © Yuriko Yamawaki

誰もが一度は読んだことがある「ぐりとぐら」のお話。1963年に生まれたふたごの野ねずみのお話は、その愛らしい絵とストーリーから長年にわたって読み継がれ、子供たちを魅了し続けています。誕生50周年を記念した本展では、「ぐりとぐら」全7話の貴重な原画をはじめ、作者の中川李枝子さん、山脇百合子さん姉妹のデビュー作「いよいよえん」の挿絵原画まで、170点以上の原画を大規模に展示。中川さんと映画監督・宮崎駿さんとのお話や世界11カ国の海外版絵本展示、読書コーナーなど、「ぐりとぐら」の世界をたっぷり満喫できます。可愛いオリジナルグッズも揃うので、お見逃しなく。

抽選で
84組
168名様に

ご招待券プレゼント



各展覧会ご招待券 3組6名様

<p>京都 特別展 桃山時代の狩野派 —永遠の後継者たち— 4/7(火)～5/17(日)</p>  <p>京都国立博物館 京都市東山区茶屋町527 TEL.075-525-2473</p>	<p>現代美術のハードコアは じつは世界の宝である展 ヤケオ財団コレクションより 3/31(火)～5/31(日)</p>  <p>京都国立近代美術館 京都市左京区岡崎門内寺町 TEL.075-761-4111</p>	<p>PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015 3/7(土)～5/10(日)</p>  <p>京都市美術館 京都市左京区岡崎門内寺町124 TEL.075-771-4107 ※京都文化博物館、他5会場あり</p>	<p>フジフィルム・フォトコレクション 私の1枚 —日本の写真史を訪った巨匠101人— 3/5(木)～5/17(日)</p>  <p>京都・細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 TEL.075-752-5555</p>	<p>琳派400年記念 現代作家200人による日本画・工芸展 京に生きる 琳派の美 4/25(土)～5/17(日)</p>  <p>京都文化博物館 京都市中京区三条高倉 TEL.075-222-0888</p>	<p>春が来た!今森光彦 自然と暮らす切り紙の世界 4/2(木)～4/21(火)</p>  <p>京都・美術館「えき」KYOTO 京都市下京区烏丸通堀小路下ル東堀 小路街「エイアル」京都伊勢丹7階隣接 TEL.075-352-1111(大代表)</p>
<p>特別展 聖護院門跡の名宝 —修験道と華厳なる障壁画— 3/21(土・祝)～5/10(日)</p>  <p>京都・龍谷大学 龍谷ミュージアム 京都市下京区堀川通正西下 (西本願寺前) TEL.075-351-2500</p>	<p>大阪 高松次郎 制作の軌跡 4/7(火)～7/5(日)</p>  <p>大阪・国立国際美術館 大阪府北区中之島4-2-55 TEL.06-6447-4680</p>	<p>黄金時代の茶道具 —17世紀の唐物— 4/4(土)～6/28(日)</p>  <p>大阪市立東洋陶磁美術館 大阪府北区中之島1-1-26 TEL.06-6223-0055</p>	<p>大坂の陣400年特別展 大坂—考古学が語る近世都市— 4/18(土)～6/8(月)</p>  <p>大阪歴史博物館 大阪府中央区大手前4-1-32 TEL.06-6946-5728</p>	<p>日本初公開シカゴ ウェストンコレクション 肉筆浮世絵—美の競館— ～浮世絵師が描いた江戸美人100選～ 4/14(火)～6/21(日)</p>  <p>大阪市立美術館 大阪府天王寺区茶臼山町1-82 TEL.06-4301-7285</p>	<p>川喜田半泥子物語 —その芸術的生涯— 3/17(火)～5/10(日)</p>  <p>大阪・あべのハルカス美術館 大阪府阿倍野区阿倍野1-1-43 あべの ハルカス16階 TEL.06-4399-9050</p>
<p>魔女の秘密展 ～ヘルに包まれた美と異端の真実～ 3/7(土)～5/10(日)</p>  <p>大阪文化館・天保山 大阪府港区海岸通1-5-10 TEL.0570-063-050(ローンチケット内)</p>	<p>岩に刻まれた古代美術 —アムール川の少数民族の聖地 シカチアリヤン— 5/21(木)～7/21(火)</p>  <p>大阪・国立民族学博物館 大阪府吹田市千里万博公園10-1 TEL.06-6876-2151</p>	<p>ミュシャの花冠 —芸術と民族への想い— 4/7(火)～7/5(日)</p>  <p>大阪・堺市立文化館 堺 アルフォンス・ミュシャ館 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ヘルマージュ専売書館 TEL.072-222-5533</p>	<p>兵庫 チュウリヒ美術館展 印象派からシュルレアリスムまで 1/31(土)～5/10(日)</p>  <p>兵庫・神戸市立博物館 神戸市中央区京町24 TEL.078-391-0035</p>	<p>堀文子 —一所不住・旅展— 4/18(土)～6/7(日)</p>  <p>兵庫県立美術館 神戸市中央区臨海海岸通1-1-1 TEL.078-262-0901</p>	<p>ガウディ&井上雄彦 —シンクロする創造の源泉— 3/21(土・祝)～5/24(日)</p>  <p>兵庫県立美術館ギャラリー棟3階 神戸市中央区臨海海岸通1-1-1 TEL.078-262-0901</p>
<p>阪神沿線の文化110年 神戸の歴史とアートの旅 —近代化の軌— 4/11(土)～6/14(日)</p>  <p>兵庫・BBプラザ美術館 神戸市灘区岩屋町4丁目2-7 BBプラザ2F TEL.078-802-9286</p>	<p>超絶刺繍展Ⅱ —神に捧げるわざ、人に捧げるわざ— 4/18(土)～6/28(日)</p>  <p>兵庫・神戸ファッション美術館 神戸市東灘区向洋町2-9-1 TEL.078-858-0050</p>	<p>モダン芦屋 クロニクル —アート、ファッション、 建築からたどる芦屋の芸術— 5/23(土)～8/2(日)</p>  <p>兵庫・芦屋市立美術館博物館 兵庫県芦屋市伊勢町12-25 TEL.0797-38-5432</p>	<p>誕生50周年記念 ぐりとぐら展 4/11(土)～5/31(日)</p>  <p>兵庫・伊丹市立美術館・工芸センター 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20 TEL.072-772-7447</p>	<p>名品とともに 水墨を楽しむ —富山県水墨美術館名品展— 4/4(土)～5/10(日)</p>  <p>兵庫・西宮市大谷記念美術館 京西宮市中浜町4-38 TEL.0798-33-0164</p>	<p>青磁のいま —受け継がれた技と美 南宋から現代まで— 3/7(土)～5/24(日)</p>  <p>兵庫陶芸美術館 篠山市今田町上立橋4 TEL.079-597-3961</p>
<p>まほろしの久能寺様に出会う 平安古経展 4/7(火)～5/17(日)</p>  <p>奈良国立博物館 奈良市登大路町50番地 TEL.050-5542-8600</p>	<p>狩野芳崖・横山大観・ 菱田春草…奈良礼賛 ～阿鼻天心、フェノロサが愛した近代美術と奈良の美～ 4/11(土)～5/24(日)</p>  <p>奈良県立美術館 奈良市登大路町10-6 TEL.0742-23-3968</p>	<p>風俗画と物語絵 4/3(金)～5/10(日)</p>  <p>奈良・大和文華館 奈良市学園南1-11-6 TEL.0742-45-0544</p>	<p>滋賀 バーネット・ニューマン 十字架の道行き 3/14(土)～6/7(日)</p>  <p>滋賀・MIHO MUSEUM 甲賀市信楽町代々館300 TEL.0748-82-3411</p>	<p>応募方法 応募締切 5/11 まで ※当日消印有効</p> <p>必要事項を明記の上、eメールまたはハガキでご応募ください。 お一人様何口でもご応募いただけます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ご希望のプレゼント番号(1～28)一口で3つまでご記入ください。 送付先の郵便番号・住所・氏名・年齢 アンケート①本誌をどこで手にされましたか②本誌へのご希望、ご感想 <p>応募先 (メールまたはハガキで) present@freecard.co.jp 〒531-0074 大阪府北区本庄東2-2-8 有)フリーカード・システム「ARTことはじめプレゼント」宛</p> <p>※発表は発送をもってかえさせていただきます。応募の際にいただく個人情報 はプレゼントの発送、または紙面向上の目的以外に利用することはありません。</p>	

web版「ARTことはじめ」
がスタート!

<http://www.arthajime.com/>

関西アート情報を多彩な視点で発信する
【ARTことはじめ】のweb版がいよいよ始まり
ます。展覧会の入館割引情報もご紹介。
お得なメルマガ会員も募集中!

アートことはじめ本誌は
こちらに設置しています。

【京都】 京都国立博物館 / 京都国立近代美術館 / 京都市美術館 / 美術館「えき」KYOTO / 龍谷ミュージアム / 細見美術館 / 【大阪】 国立国際美術館 / 大阪市立東洋陶磁美術館 / 大阪歴史博物館 / 大阪市立美術館 / 国立民族学博物館 / 堺市立文化館 堺 アルフォンス・ミュシャ館 / 【兵庫】 芦屋市立美術館 / 神戸市立博物館 / 兵庫県立美術館 / BBプラザ美術館 / 伊丹市立美術館 / 神戸ファッション美術館

FC+S
Free Card System, INC.

【発行】
有限会社フリーカード・システム
〒531-0074 大阪府北区本庄東2-2-8
TEL.06-6359-6050 FAX.06-6359-6051
<http://www.freecard.co.jp>

f 「ARTことはじめ」も要チェック!